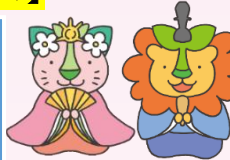


やわらかな春の訪れを感じる陽射しに包まれ、この1年で成長したみんなと少しずつ来年度への準備をしながら、楽しく元気に過ごしていきたいと思います。それでは、今月も教室のトピックスをたくさんお届けします。ご覧ください♪

【2月のトレーニングの振り返り 週間テーマ】

- 2月 1日～ 危険を避ける
- 2月 8日～ 自己紹介
- 2月 15日～ 交通ルール①
- 2月 22日～ 読み聞かせ

ハッピーキャット



ハビテライオン

【★トレーニングの振り返り★】

2月1日 【危険を回避】

机上課題として、迷路4枚に取り組みました。危険な物(とげ・炎・爆弾・落とし穴)を避けてゴールを目指す迷路です。迷路4枚を終えた後に、体操を行い、バランスストーン・紐ぐり・トランポリンを行うサーキットに取り組みます。迷路の危険な物と同じものを印刷した用紙をバランスストーンや紐ぐりに、貼り付けてそれを意識して避けるトレーニングを行っています。

机上の迷路では、迷路の途中で消火器などのアイテムを自分で書き足し、それを取ることで炎の所を通れるようにするといった工夫をする児童がいました。サーキットでは、バランスストーンに貼ってあるとげを見て立ち止まっていく方向を変えることができていました。

2月8日 【自己紹介サーキット】

机上にて、7cm×7cmの黒い枠を2つ印刷した画用紙を配り、自分の名前と好きなものをカードに書き、それを切りとります。紐ぐり・バランスストーン・トランポリンのサーキットを行っています。机上で作成したカードをサーキットの途中に置き、自分のカードを探して集める。ゴールしたところで集めたカードをもとに自己紹介をする取り組みを行いました。

好きなものでは「餃子やうどん」などの食べ物が多かったですが、中には「〇〇君」とその場にいる他の児童のことや「鬼ごっこ」と遊びを伝える児童も見られました。

16日 高学年講座【協力宝探し】

2人ペアになり、一人は目隠しをし、もう一人は案内役となる。一人が目隠しをすると指導員がランダムに5つの宝を教室に置きます。それを案内役の児童がどこにあるのかを口頭で説明し、目隠した児童はその説明を聞き、宝をすべて集めます。途中、障害物に当たってしまったら+5秒のルールで行い、すべて集めるまでのタイムを計って取り組みました。

案内役の児童は、目隠した児童の前に立ち「右にまっすぐ行って」と伝えましたが、相手が逆に動いたり、「あ・・・こうやって!」と右足をあげて欲しいことが言葉にならなかったり、言葉で伝えることの難しさが見られましたが、相手の動きに合わせて「まっすぐ、まっすぐ、右」や指導員に促されて「ストップ!前に3歩」など具体的に伝える場面も見られました。感想では「もうちょい、どこにいるかが欲しかった」「障害物があるんじゃないかっていう不安がある」「ここに障害物がないとか安心させる声掛けがいい。」と伝えることができました。

【新型コロナウイルス対策について】

・ご来所の際は、コロナ感染症の予防として、教室でのマスク着用をお願いしております。何卒ご理解・ご協力のほどお願い致します。また、職員もマスク着用で対応させていただきます。

・教室入室前の手洗い、うがいに加えて検温、アルコール消毒を実施しています。ご協力の程、よろしくお願い致します。

また、マスクを忘れてしまう児童や、遊びの中で破損してしまうケースもありますので、予備を持たせていただくと幸いです。

【もし、濃厚接触者が出た場合はご連絡ください】

・万が一身近な人に濃厚接触者が出た場合は教室までご一報いただけますと幸いです。

・また、濃厚接触者ではないが芝浦教室に通ってもいいか不安になった際は、いつでもご連絡・相談ください。

【授業時間の変更について】

・先月より3密を避けるため、分散での授業時間に変更しております。急な変更にもかかわらず、ご協力いただきまして、ありがとうございます。

	A (13:30~15:30)	B (13:30~16:10)	C (16:20~17:30)	D (17:40~18:30)
13:30~15:30	自由時間	自由時間		
15:40~16:10		トレーニング①		
16:20~16:50			自由時間	
17:00~17:30			トレーニング②	
17:40~18:00				自由時間
18:00~18:30				高学年講座



フワハム

また、3月26日からの平日は、長期休暇の時間割になりますので午前・午後の2部制に分かれてトレーニングを行います。

【3月のトレーニングの予定】

- 3月 1日～ 名前
- 3月 8日～ 電話①
- 3月 15日～ 気持ちを表そう
- 3月 22日～ 防災訓練
- 3月 29日～ お店のルール



テラスマウス



Happy通信コラム(第8回)

第8回 アサーティブ実践(其の伍 課題達成、問題解決のためのアサーション)

さて今回は、課題達成・問題解決を目指す際のアサーションな言語表現について、DESC法という技法に沿ってご紹介します。

DESC法とは、他者に要望を伝える際の表現を以下の4つの段階に分けて行う方法のことを言います。

◆D(describe):描写する

→自分が対応する状況や相手の行動の描写。この段階のポイントとして、自分も相手も理解でき、且つ納得のいく客観的、具体的、特定の事柄、言動とする。

◆E(express, explain, empathize):表現する、説明する、共感する

→描写した状況や相手の行動に対する自分の主観的な気持ちの表現や説明、相手の気持ちに共感する。この段階のポイントとして、相手に自分の気持ちを伝える際は、明確に表現しつつも、感情的になり過ぎないことが重要です。

◆S(specify):特定の提案をする

→相手に望む行動、妥協案、解決策の提案をします。この段階のポイントとしては、現実的且つ小さな変化をもたらせる案を、具体的に述べるのが重要です。

◆C(choose):選択する

→提案した行動が受け入れられた場合と、そうでなかった場合のそれぞれで、どういう行動をするかを考えます。この段階のポイントとしては、具体的且つ実際に可能な範囲に収まる行動であり、相手に不利益を与えないことが重要です。

ここからは、ある場面を想定してDESC法に基づいて要望を伝える言葉を作ってみます。
場面設定は、本コラムの出発点ともなりました「お子様が宿題を拒否している場面」とします。

帰宅後すぐに宿題をやらないと、そのままやらずに次の日になってしまうことが癖になっているため、帰宅後に宿題を終わらせてしまってから、好きな事をするのが好ましい、といった場面とします。





2021年3月号

Happy通信



「今日は宿題があるから、やらなくちゃいけないね(D)。この間は朝に慌ててやっていたから、お母さん(お父さん)少し心配になってきちゃった(E)。でも、宿題って楽しくないからあんまりやりたくはないよね(E)。でも、何とか今の内にやってみない?(S)。そうしたら、あなたはその後、何も気にせず過ごせるし、お母さん(お父さん)も安心だなあ(肯定的結果に対するC)。/もし、どうしても今は気乗りしないなら、お風呂に入るまでの時間でやれる時間を一緒に考えてみない?(提案が受け入れられなかった場合のC)。」

こうして文章にしてみると、ここは言わなくても大丈夫かもしれない、逆にこの部分はもう少し伝えたいことがある、など様々な事を思われる方がいるかもしれません。

相手との関係性や、状況をどう受け止めているかによってはD~Cまで全ての項目を言う必要はありません。また、この順番で言わなくても良い場面もある事と思われます。しかし、きちんと分かりやすく話をしたい時、自分の状況を整理した上で、相手にも分かりやすい表現をする際には、とても有効な方法です。

最後に、DESC法に取り組む上で、注意すべき点を提示します。

まず、第1の注意点は、DとEを明確に区別すること。具体的には、Dには主観を交えない客観的な事実、つまり、誰に伝えても同じように理解できる事実を持ってきて、理解の共通基盤を作るイメージです。逆にEでは、自分が思っていることを相手に分かってもらうことを目的としているため、そのままの想いを、率直に伝えます。

続いて、第2の注意点は、Cの表現の仕方です。どんな場面でも、自分の意見を伝える際の最大の障壁は、相手が、どう受け止めるかが分からないことでしょう。それはある意味当然のため、意見が通った場合、そうでなかった場合、双方への対応や心構えを用意しておく、非常に役に立ちます。

自分の意見への完全同意を期待していると、そうでなかった際に攻撃的とも取れるほどに強引になってしまったり、逆に必要以上に臆病になり、主張ができなくなったりします。

繰り返しになりますが、前提として【あいては自分の思い通りには動かない】ものです。それでも、気持ちや考えを理解し、自発的に言動を変更してくれることはあります。そのため、そこに焦点を当て、様々な対応を準備しておくことで、お互いに納得のいく落とし所を探していくことがアサーションの狙いです。

さて、今回は、課題達成、問題解決のためのアサーションについて、その考え方の基盤となるDESC法を交えて紹介させていただきました。

次回は、言語表現のアサーションの集大成として、前回の日常会話のアサーションと、今回の課題達成、問題解決のアサーション双方の心構えについて御伝えしていきたいと思ひます。

